



# 野田まちなか寄席

**木戸銭** 当日券 1,000円  
前売り券 500円  
団体割引 500円  
※5名様以上のグループ（要予約）

**前売り券 500円**  
ご観覧の方全員に  
名産品などのお土産を  
プレゼント！

野田市商店街連合会の売出しで  
寄席の招待券や豪華賞品が当たる！  
売出し期間 2015年2月7日㈯～22日㈰まで  
抽選日 2015年2月22日㈰

# 野田まちなか寄席

東武アーバンパークラインに乗って、  
野田市を見て、野田市で観て楽しもう！

会場 野田まちなか寄席会場 野田市野田 679-2(野田郵便局前)

各日にち 当日券販売・開場 12時30分 講演時間 14時～16時

開催日	出演者
落語	1月18日(日) 立川志遊、津軽三味線 伊藤茂秀
	2月1日(日) 入船亭扇海、のこぎり奏者 木本誠二、船部明子
	2月14日(土) 山遊亭金太郎、昔々亭桃之助 鏡味小時、笑紫会
	3月1日(日) 澤孝子(日本浪曲協会前会長)、澤恵子
浪曲	1月25日(日) 澤孝子(日本浪曲協会前会長)、澤恵子
	2月8日(日) 澤順子、松本孝子
	2月22日(日) 澤孝子、澤勇人
	3月8日(日) 澤孝子、澤恵子

定員  
**70名**

春日部



お問い合わせ  
予約申し込み 野田市商店街連合会事務局 ☎ 04-7122-3585 (野田商工) (会議室内)

前売り券販売場所 野田商工会議所 [営業時間] 8:30～17:30 [定休日] 毎週土・日曜日  
千葉県野田市中野台 168-1 榆のホール 5階 (電話: 04-7122-3585)

主催 野田市商店街連合会 後援 野田市 野田商工会議所

# 野田まちなか寄席

東武アーバンパークラインに乗って、  
野田市を見て、野田市で観て楽しもう！

野田には名所がたくさんあります。野田まちなか寄席会場に行く途中にも歴史的な建造物やしょうゆに関する場所がありますので、ここでちょっとご紹介します。

## あたご

愛宕駅

しみずこうえん 東武アーバンパークライン

徒歩約3分



### 愛宕駅下車ルート

#### 愛宕神社

創建は延長元年(923)と伝えられ、現在の本殿は文化10年(1813)に再起工し文政7年(1824)に再建されました。本殿を飾る神話や唐子遊びをモチーフとした見事な彫刻は二代目石原常八の作です。千葉県指定有形文化財

徒歩約5分

#### キノエネしょうゆ社屋

醤油の町・野田を代表する醤油醸造工場のひとつが天保元年(1830)創業といわれるキノエネ醤油です。中は見学出来ませんが、黒板塀の建物風景は醸造の歴史をしのばせます。

徒歩約3分

#### 野田のしょうゆ発祥地

室町時代永禄年間(1558~70)に飯田市郎兵衛が初めて野田で醤油を醸造したといわれる飯田家の龜屋蔵(立場)跡に記念碑があります。

徒歩約1分

## 野田まちなか 寄席会場

## のだし

野田市駅

あたご 東武アーバンパークライン  
うめさと

徒歩約5分

### 野田市駅下車ルート

#### キッコーマンもの知りしようゆ館



野田市駅に程近いキッコーマン(株)野田工場製造第部内にあり、醤油ができるまでの工程や歴史を映像やパネルを使って解説しているほか、一部醤油をつくる実際の工程を見ることができます。要予約。

徒歩約14分

#### 興風会館



興風会館は、建築様式はロマネスクを加味した近世復興式のもので、大・小講堂、地下ギャラリー、集会室などを備えています。設計者の大森茂氏は、神田駿河台の明治大学旧校舎や旧御川公爵邸などを設計した建築家です。

徒歩約3分

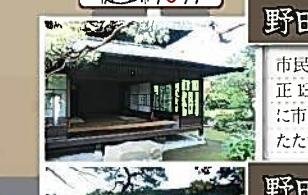
#### 千秋社社屋(旧野田商誘銀行)



野田商誘銀行の名称は、創立委員のほとんどが醤油醸造家であり、醤油の語呂にちなんで「商誘」と名づけられたそうです。建物は大正15年に完成しました。現在は(株)千秋社の建物となっており、中は見学出来ません。

徒歩約8分

#### 野田市市民会館



市民会館は、醤油醸造家、茂木佐平治邸として大正13年(1924)頃に完成しました。昭和3年(1958)に市に寄附され、緑の広い庭園に囲まれた純和風のたたずまいとなっており、市民に貸出も行っています。

徒歩約10分

#### 野田郷土博物館



郷土博物館は、近代建築家として著名な山田守(1891~1966)の設計で、醤油関係資料、郷土に関する歴史資料や民俗資料等を展示しています。

## 野田の名産品のご紹介

江戸にほど近く、利根川と江戸川に挟まれた野田は、原料となる大豆・小麦・塩などの入手がしやすく、水にも恵まれ、さらに江戸川を使って朝野田を出ると昼には日本橋に着くという水運の利便さで大消費地の江戸に醤油を供給する一大生産地となりました。

そのような中でせんべいをはじめとした醤油を使った食品が作られるようになり、今では、せんべい、漬物、和菓子など、やがて野田を代表する名産品が数多く生まれています。

愛宕駅・野田市駅から「野田まちなか寄席」会場に向かう道中にも、キッコーマンやキノエネの醤油工場やおせんべい屋さん、和菓子屋さん、漬物屋さんがあり、ぜひお気軽に立ち寄っていただき、お店の由来を聞いてみたり、ご家族のお土産としてご利用ください。



会場までの地図はオモテ面の会場案内図をご参照ください。

当日販売窓口までお持ちください

## 木戸銭割引券

通常当日券1000円のところ

おひとり様 600円で

当日券がご購入できます。

ぜひご利用ください。